

序

広島県地域保健対策協議会は、県内における保健・医療・福祉に関する事項を総合的に調査、研究、協議し、もって県民の健康の保持・増進と福祉の充実に寄与することを目的として昭和44年に設立されました。これまでも多くの提言を行政等の関係機関に対し発信し、施策として実施されることにより、多大の成果を挙げてまいりました。

発足以来40年の節目を迎えましたが、このような組織は他県に例がなく、全国的にも非常に注目されており、ますますその重要性が増してきております。

全国的な医師不足、新型インフルエンザの爆発的発生、療養病床の再編や後期高齢者制度の創設に伴う諸課題、世界各地で発生している大規模災害や、テロ事件等わが国の保健・医療を取り巻く環境は厳しさを増しております。

これら状況に的確に対応し、県民の健康保持増進と、保健・医療・福祉に対する県民の期待に応えていくためにも今まで以上に県地对協は活発な活動を行っていく必要があると考えております。

このため、本年度は医師確保対策や、乳ガンや、脳卒中、急性心筋梗塞について検診から精密検査・周術期医療を経てフォローアップに至るまでの地域連携パスの作成について集中的に検討してまいりました。

一方、新型インフルエンザ等の感染症に対する危機管理体制の構築や、救急医療に対する県民の理解を深めるための啓発活動、集団医療救護訓練や、それに基づく災害マニュアルの検証と改定等について実施してまいりました。

その他、在宅ケアや緩和ケアの推進、子育て環境整備に関する支援策、メタボリックシンドローム等の生活習慣病対策、医薬品の適正使用等についても協議・検討を行うなど多くの成果を上げております。

このように県地对協では、それぞれの専門家が分野を超えて一致協力して問題解決にあたる場として活発な活動を行ってきており、その果たすべき役割は今後ますます大きくなっていくと痛感いたしております。

今後とも健康と安全を守るために、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

広島県地域保健対策協議会

会 長 確 井 静 照

目 次

序	碓井 静照	i
平成 20 年度広島県地域保健対策協議会組織図		1
保健医療基本問題検討委員会		
医療システム専門委員会		
脳卒中医療連携推進 WG		
脳卒中医療連携推進 WG 調査研究報告書		3
急性心筋梗塞医療連携推進 WG		
医療システム専門委員会 急性心筋梗塞医療連携推進 WG 報告書		13
医療従事者対策専門委員会		
医療従事者対策専門委員会報告書		29
医療環境整備専門委員会		
医療環境整備専門委員会活動報告書		37
地域ケア促進専門委員会		
地域で支える認知症		
—DBC シートの活用による認知症治療・ケアの総合化に向けて—		45
子育て支援専門委員会		
思春期保健対策 WG		
子育て支援専門委員会「思春期保健対策 WG」報告書		51
乳幼児健診等支援体制 WG		
乳幼児健診等支援体制 WG 報告書		63
メタボリックシンドローム予防特別委員会		
メタボリックシンドローム予防特別委員会報告書		73
医薬品の適正使用に関する検討特別委員会		
医薬品の適正使用に関する検討特別委員会報告書		79
自殺（うつ病）対策専門委員会		
自殺（うつ病）対策専門委員会報告書		81
がん対策専門委員会		
がん対策専門委員会平成 20 年度報告書		
肺がんの医療連携体制の構築に向けて		105
緩和ケア推進 WG		
緩和ケア推進 WG 平成 20 年度報告書		109
乳がん医療連携推進 WG		
がん対策専門委員会 乳がん医療連携推進 WG 報告書		131
肝炎対策専門委員会		
広島県における肝炎対策と残された課題		137
健康危機管理対策専門委員会		
健康危機管理対策専門委員会平成 20 年度報告書		143
あ と が き		175